

令和6年度 学校評価表

85 穂高商業高等学校

学校教育目標		中・長期的目標
1. 幅広い教養と専門的な知識・技術を身につけ、地域に貢献できる人材の育成 2. 豊かな人間性と創造力を持ち、主体性ある人間を育てる 3. いじめ・体罰・セクハラを起こさない安全・安心な学校作り		自ら学び行動することで共に生きることの大切さを知る生徒の育成 ( 自学・自立・共生 )
今年度 重点目標	1 商業高校の特色を活かした教育活動の充実【ビジネス探究教育の推進】 2 地域と連携し地域に貢献できる教育活動の推進【地域人教育HOTAKAの推進】 3 いじめ・体罰・セクハラを行ない安心・安全な学校づくり【信頼・信用から安心・安全な学校づくりの推進】	

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点	年間評価(成果と課題)	評価
総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体の円滑な運営を行う</li> <li>開かれた学校づくりを推進する</li> <li>学校評価により教育活動の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的業務の遂行</li> <li>緊急時の備え</li> <li>情報メールの活用</li> <li>内規の見直し</li> <li>次年度年間行事予定表作成</li> <li>開かれた学校づくりに関わる業務の円滑な遂行</li> <li>学校評価の実施・集約・対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部署との連絡を密にし、各種行事等を円滑に遂行するための援助ができたか。</li> <li>緊急時の備えを年度当初に完備し、活用できたか。</li> <li>生徒・保護者・職員への情報発信が迅速かつ的確に行えたか。</li> <li>内規の運用上の問題点の洗出しと修正が的確にできたか。</li> <li>授業時数の確保と、年度末反省を活かした年間行事予定表が作成できたか。</li> <li>地域に対して本校の教育活動に関する情報をきちんと伝えられたか。</li> <li>学校関係者評価を計画的に実施し、その結果を教育活動に活かされたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体の運営を円滑に行うことができた。</li> <li>予期せぬ事態にも対応できた。</li> <li>内規の見直しと修正を図ることができた。</li> <li>開かれた学校づくりを目指し、5回の授業公開を実施することができ、中学生と保護者のみならず、地域の方々にも参加いただける機会も設けられた。</li> <li>次年度以降は、中学1・2年生も参加できるような仕組み作りを考えたい。</li> </ul>	A
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の人権・人格を尊重し、自主的で民主的な資質と行動力の育成を図り、日常生活に即して社会性も養う。</li> <li>基本的な生活習慣を身につけさせ、心身の健全な育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題行動に関する指導</li> <li>学校生活に関する指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題行動の発生を防ぐ取り組みが実践できたか。(学校行事での取組や校舎内外の巡視指導など)</li> <li>問題行動発生時における対処がスムーズに行えたか。(家庭連絡や校内連携)</li> <li>反省指導が効果的に行えたか。(時期・方法・回数など)</li> <li>担任を中心とした、継続的指導ができたか。</li> <li>学年・教科担当・係などの関わりが効果的に行えたか。</li> <li>交通安全指導が効果的に行えたか。</li> <li>情報モラルに関する指導ができたか。</li> <li>服装、頭髪に関する指導が効果的に行えたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事(入学式・穂商祭・合唱コンクール)における校舎内外の警備・巡視指導(4月15日より現在まで教室を巡視、下校指導2回)など計画通りできた。</li> <li>担任に協力していただき、問題行動発生時における対処がスムーズに行えた。</li> <li>今年度は2例だったが、指導を効果的に行うことができた。</li> <li>担任を中心 → 学年全体として、継続的指導にしたい。</li> <li>学年・教科担当・係などの関わりを強化したい。</li> <li>5月に全校で交通安全教室を実施した。スタントチームによるデモンストレーションで交通事故が起こる原因を実際に再現して注意喚起を促した。</li> <li>次年度は1学年を対象に実施をしたい。</li> <li>情報モラル講座は1学年集会等で実施するとともに、情報処理の授業内においても扱っていただいた。また、全校が集まる機会での注意喚起を促した。</li> <li>重大なトラブルはなかったが、SNS上のトラブルが多々発生している。中学時代より所有しているため、中学校との連携も必要か。</li> <li>定期テストにて身だしなみチェックをお願いした。</li> <li>校風委員と協力しながら、定期的な指導を継続していきたい。</li> <li>来年度より制服の義務化を廃止することを決定。ルール作りについては、現在進行中。</li> </ul>	A
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え自ら行動できる主体性を育て、生徒が生きる活動を支援する。</li> <li>全校生徒を巻き込んだ生徒会活動を心がけ、それをリードする役員にはリーダーとしての自覚形成を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主性を育てる指導</li> <li>委員会活動の充実</li> <li>他校生徒会との交流</li> <li>地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自らの企画・運営について適切な助言・指導ができたか。</li> <li>日常的活動がスムーズに行えるように助言・指導ができたか。</li> <li>行事や委員会活動の根本的な意味や意義を考え実行できたか。</li> <li>他校生徒会執行部などと交流の場を設けられたか。</li> <li>穂高及び学校周辺の地域と交流の場を設けられたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾の高校生訪日交流を実施、言葉の壁を感じながらも、日本、安曇野で経験できる交流プログラムを生徒自ら考え、もてなすことができた。よりスムーズな言語交流や意思を効果的に表現することについて、課題感をもった。</li> <li>生徒数の減少において、行事規模や内容の再検討、役員選出の適正化、規約の見直し等、現状および今後の見直しにもとづいた見直しを始めた。日常活動がスムーズに行われ、自らが率先して運営できる活動実践にむけて検討を重ねたい。</li> <li>開校110周年関連行事に際して、同窓会や記念講演講師 村尾信尚さんとの懇談、校歌録音といった活動を通して、様々な世代の同窓生や地域と関わりながら主体的な取り組みを実践することができた。</li> <li>エイワ祭に参加し、地域交流を深めることができた。</li> </ul>	B
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりが社会を広く知り、社会との関わりの中で自己を確立し、社会で生きる基礎的な力を養う。</li> <li>家庭との連携を緊密にとりながら、生徒一人ひとりの進路意識の向上を図り、生徒が将来の職業選択へのきっかけをつかむ機会にする。</li> <li>生徒一人ひとりの進路実現に向けて、きめ細かく丁寧な進路指導を行うと同時に、専門課程高校の特色を活かした進路指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係諸団体と緊密な連携を図り、進路指導上必要と思われる情報の収集・管理・提供を的確に行う。</li> <li>生徒の自主的な進路選択が可能となるように必要かつ有意性があるタイムリーな情報提供を行い、生徒一人ひとりに対する万全のサポート体制をつくりあげる。</li> <li>専門課程高校の特色を活かした進路指導の研究および実践を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係諸団体との連携を図りつつ、進路指導上必要な情報収集・情報提供を行うことができたか。また適切な情報管理がなされたか。</li> <li>大学・短期大学・専門学校の内容や公開授業、選抜方法等に関する情報を適切に提供することができたか。</li> <li>各事業所の求人情報を迅速に収集し、受験希望企業の決定に有意性のある情報を提供することができたか。</li> <li>生徒の進路希望状況を学年スタッフと共有し、進路実現のための協力的なサポート体制を構築することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係諸団体と連携して、企業説明会・進学相談会・校内進路ガイダンス等により情報の収集・管理・提供を実施できた。</li> <li>大学・短大・専門学校各校の特色、教育内容、進路実績等につき学校担当者との面談で情報を収集し、希望生徒や保護者に情報を提供することはできた。さらに効果的な指導方法については検討が必要。</li> <li>大学・短大の出願に関するガイダンスを実施することができた。</li> <li>就職希望者に企業の採用担当者との面談で収集した求人情報を提供し、職場見学の企業を選定する際に役立たせることができた。</li> <li>生徒一人一人が自主的な進路決定を行うことができるよう、学年の進路係と担任が連携して、個々の生徒に対し綿密かつ丁寧な対応を心がけてきた。</li> <li>生徒が資料をじっくり見ることができる環境の実現を模索したい。</li> <li>専門課程高校の特色を生かした進路指導の研究・実践をさらに深めていきたい。</li> </ul>	B

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点	年間評価(成果と課題)	評価
人権・図書・視聴覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間」を尊重し、相互に思いやる心を育てる。</li> <li>・「平和」と「公正」を愛し、民主的な社会の建設に積極的に関わっていくことのできる人間の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権についての知的理解を深め、不当な差別や矛盾に気づく力。</li> <li>・思いやりの心や連帯感、人権を大切にできる精神。</li> <li>・平和的・民主的な手続きによる問題解決。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある様々な事例から不当な差別や社会的矛盾に気づく力がついたか。</li> <li>・思いやりの心や連帯感が身についたか。人権を大切にできる態度が身についたか。</li> <li>・平和的・民主的な手続きによる問題解決ができるようになったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画「こんな夜更けにバナナかよ 一変しき実話」を鑑賞し、感想文を書いた。他者を尊重し、連帯して共に生きることの尊さを自覚することができた。</li> <li>・様々な場面を捉えて人権尊重、相互に思いやる心を養い、育てることができた。</li> <li>・身近な諸問題に向き合い、解決に向けて努力する力がついた。</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の教科学習の充実のため、また各個人の知的興味や感性を高めるために図書館資料の整備・充実を図る。</li> <li>・職員 of 教科指導等に役立つように、館内の環境や図書資料の整備を図る。</li> <li>・生徒の利用指導及び読書指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望図書を把握し、資料の充実・整備につとめる。</li> <li>・教科指導に役立つ資料を整備・提供し、授業での図書館利用を促進する。</li> <li>・定期的な情報を発信し、図書館利用を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内整備を計画的に行えたか。</li> <li>・資料の収集、整理が適切に行えたか。</li> <li>・授業で図書館は積極的に利用されたか。</li> <li>・来館者数、本の貸し出し数等、活発に利用されたか。</li> <li>・マナーを守って利用できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「探究」を意識したものや、本校の教育活動に役立つ選書を行い、今年度は職員室に設けられた関連コーナーの運営にも携わった。</li> <li>・書架の耐震固定を更に進め、図書館内の安全確保に努めた。</li> <li>・年度当初の計画に沿って購入除籍を進めた。毎年の購入予算漸減のため、来年度は購入雑誌の見直しを進める予定である。</li> <li>・特定の科目という偏りはあるものの、授業での積極的な図書館利用があった。</li> <li>・新着本やおすすり本、新聞の切り抜きなどを図書館内外に並べて紹介するなど、広報活動に努めた。</li> <li>・春の読書旬間を3週間に延長して、その間の朝読書の充実に努めた。春の読書期間中各クラス一度は図書館に来て朝読書をするので、より読書や図書館に親しむことができた。また、春の読書旬間の反省を生かして秋の読書旬間も充実させることができた。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員活動の自主的・積極的活動を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員の活動や読書旬間中の行事企画の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員の活動は、計画的に行えたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の読書期間中に実施した、校長による読み聞かせが好評であった。できれば、定期的に実施したい。また、職員による教養講座のような企画も考えたい。</li> <li>・図書館だより「リーブル」の発行やクリスマスイベントなど、図書委員としての活動を意欲的に行うことができた。</li> <li>・6月下旬と8月下旬の2度、安曇野市中央図書館「みらい」を訪問し、「読書のバリアフリー」について研修した。</li> <li>・8月上旬、安曇野市中央図書館「みらい」で行われた安曇支部図書委員交流会に参加して他校生と積極的に交流し、そこでの経験をその後の自校での活動に生かすことができた。</li> <li>・委員の当番活動への取り組みはクラスによって落差が大きく、来年度の一つの課題である。</li> </ul>	
保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚機材を通して学習への意欲・関心を高める。</li> <li>・芸術鑑賞を楽しみ、感性と感覚を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな視聴覚機材を利用する。</li> <li>・芸術鑑賞行事の円滑な運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚機材の使用により興味・関心は高まったか。</li> <li>・芸術鑑賞行事が、生徒の情操を涵養することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面で積極的に視聴覚教材を利用して、学習への意欲を高めることができた。</li> <li>・6月19日(水)キッセイ文化ホールで、公演「湯を沸かすほどの熱い愛」を鑑賞した。生徒の満足度は非常に高く、生徒の情操教育に資するところ大であった。</li> </ul>	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策をとりながら健康診断を行う。</li> <li>・けがや疾病を早期に発見し応急処置を行う。</li> <li>・健康相談活動を支援室と連携を取りながら実施する。</li> <li>・生徒保健講話の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・応急処置の実施</li> <li>・健康相談活動の実施</li> <li>・保健講話の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策をとりながら健康診断を実施できたか。</li> <li>・けがや疾病の応急処置を実施できたか。</li> <li>・健康相談活動を校内の連携をとりながら実施できたか。</li> <li>・保健講話を実施できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策をとりながら健康診断を実施した。</li> <li>・保健室来室者への応急処置を実施した。</li> <li>・健康相談活動を行い、校内外の関係機関への連絡を実施した。</li> <li>・性教育、薬物乱用防止、癌教育講話を実施した。</li> </ul>	
清整・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に貢献できる学校づくりのため、学校周辺の美化活動に努める。</li> <li>・心を育む時間大切に、掃除を通し「気づき力」を学ばせ</li> <li>・日々「美しい環境」で過ごす習慣を身につける。</li> <li>・落ち着いて授業に集中できる環境づくりを目指す。</li> <li>・見えないところで頑張る！「掃除から心育み成長へと導く」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンキャンペーン(美化活動)実施の提案</li> <li>・文化祭での清掃活動</li> <li>・日常の清掃活動の取組状況</li> <li>・ゴミの分別状況</li> <li>・大掃除の徹底</li> <li>・清整作業当番活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穂高駅・役場・神社等の公共施設の美化活動ができたか。</li> <li>・学習環境の美化に貢献できたか。</li> <li>・生徒の学校設備に対する「大切に使う・きれいに使用する」という意識を育て、積極的に日常の清掃に取り組みさせることができたか。</li> <li>・日常のゴミの分別が適切に行われているか。</li> <li>・委員自ら自主的に計画行動に移せたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA保護者と共に1学年生徒・清整委員で、クリーンキャンペーン実施。通学路・校舎内外の美化活動が実施できた。</li> <li>・月例大掃除実施、時間内清整部室棟掃除・放課後全館水モップ拭き等通年実施できた。</li> <li>・プリント・放送・委員自らの作業姿勢で全校への意識向上促し、掃掃への認識を高め、掃除に 取り組む姿勢が持てるよう努力した。</li> <li>・学校「美しく整えよう」を心がけられるよう、より工夫を重ね活発な活動を継続したい。</li> </ul>	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から災害非常時における意識の喚起と高揚</li> <li>・避難等の周知徹底</li> <li>・冬期ストーブの安全管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難対策</li> <li>・安全(生命)確保</li> <li>・正しい消火器使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、職員共に非常時における対応など意識の高まりは見られたか。</li> <li>・避難訓練、消火器の実技訓練等を通じ、生徒職員の防災意識の向上が計られたか</li> <li>・冬期のストーブ使用が正しく安全に行われたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生単独の避難訓練は、クラス毎、脱出シューターによる避難ビデオを視聴後におこなった。</li> <li>・秋の避難訓練は、整然と迅速に避難ができた。生徒の消火器の実技訓練・職員による屋内消火栓講習をおこなった。</li> <li>・冬期のストーブ使用については組織的に安全確認を行うことができた。</li> </ul>	
PTA・同窓会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と教職員の連携・連絡を密にして、「生徒の成長」というPTA共通の願いの実現をめざす。</li> <li>・専門部会の活動は、できうる範囲での充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA諸行事の充実</li> <li>・対外的なPTA行事への参加(中信、県、北信越、全国の高P連研究会など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA諸行事を円滑に運営し、充実を図れたか。</li> <li>・諸会合の内容を会員に伝達・広報することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を通じて、PTAの諸活動を滞りなく行うことができた。</li> <li>・PTAの諸活動や学校行事については学校ホームページやSNSにより広報することができた。</li> <li>・対外的な諸会議・諸会合にはPTA会長、校長を中心に積極的に参加した。</li> <li>・来年度以降もPTA組織や活動内容について更に見直しを進める。</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の親睦</li> <li>・母校の発展と地域社会の文化の向上発展に貢献する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会諸行事の充実</li> <li>5月 同窓会理事会及び同窓会総会(本年度中止)</li> <li>5・8・10月 穂商あづみ野会ゴルフコンパ</li> <li>8月 同窓会支部対抗親善マレットゴルフ大会</li> <li>9月 創立110周年記念講演会</li> <li>3月 同窓会入会式</li> <li>・同窓会報の発行など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会諸行事・諸活動が充実して会員相互の親睦が深まったか。</li> <li>・同窓会活動の見直し改革が行われ活性化がされたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナにより同窓会行事の開催を見送ってきた昨年度までとは変わって、多くの行事を開催することが出来た。特に本年は創立110周年にあたり、記念講演会を開催することができた。</li> <li>・ソフトボール大会に代えマレットゴルフ大会を開催した。多くの同窓生が参加され、大変好評であった。来年度以降マレット後大会の実施を検討している。</li> </ul>	

分掌	活動目標	評価項目	評価の観点	年間評価(成果と課題)	評価
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援生徒に関する情報を把握し、職員、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携を図る。</li> <li>年2回のアセス、生徒支援面談などを通して、生徒理解・支援ならびにいじめ等の早期発見を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回、生徒支援面談を計画的に実施し、生徒の状況把握に努める。</li> <li>要支援生徒への適切な支援が行えるよう、情報共有や特別支援教育に関する研修等を計画的に行う。</li> <li>欠席が長期にわたる生徒に関する協議を行う。</li> <li>クラス担任等と連携し、SC、SSWを状況に応じて適切に活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒支援面談を計画的かつ有効に実施できたか。</li> <li>各部署と連携をとりながら適切に生徒支援が行えたか。</li> <li>SC、SSWの活用は適切かつ十分であったか。</li> <li>諸活動を通して、安心安全な学校作りに寄与できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒支援面談は効果的であった。</li> <li>SC、SSWの活用をスムーズかつ適切に行うことができた。</li> <li>支援室の運営により、安心安全な学校作りに貢献できた。</li> <li>職員研修を2回実施することができた。</li> </ul>	A
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のランドデザインを踏まえ、生徒および保護者、地域の願いを実現できる教育課程の検討。</li> <li>次年度科目選択調査の実施と講座数の調整</li> <li>新学習指導要領における学習評価の研究</li> <li>産学官連携のあり方検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程編成</li> <li>生徒が適切な科目を選択できるガイダンスの実施、講座数の検討と調整。</li> <li>学習評価の妥当性や信頼性</li> <li>産学官連携の組織体制見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育課程編成・実施方針(CP)に即した教育課程であるか。</li> <li>生徒一人ひとりの進路希望や興味・関心に繋がる科目選択となっているか。</li> <li>生徒、保護者に学習評価の方針が共有できたか。</li> <li>産学官連携がより効果的に機能する体制となったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の希望に即したコース選択、科目選択ができるようガイダンスを実施し、講座の編成を行うことができた。</li> <li>学習評価シートを見直し、全校で共有することで妥当な評価が行えるように改善した。</li> <li>生徒、保護者に評価の理由がわかるよう事由書の作成を行った。</li> <li>学級減や生徒数減に対応してカリキュラムやシラバスを見直すことや、教育課程の透明性を高めていくことが課題である。</li> <li>現在、産学官連携については教育課程委員会とは別の組織で対応している。</li> </ul>	B
み再編い・穂商会の	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標、3つの方針、ランドデザインをベースに新しい学校創設のビジョンを具現化していく。</li> <li>学校再編による新たな学校の在り方や方向性について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校再編、高校教育改革</li> <li>教育内容や行事等の精選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的なビジョンの確立と職員のコンセンサスは得られたか。</li> <li>各部署と連携し学校再編を見据えた協議ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4回実施の再編懇話会の運営にあたり事務局会を重ね、校内においては進捗の共有や将来の見通しをふまえた協議を実践することができた。</li> <li>関係校の職員や生徒たちと積極的に関わり、それぞれの学びについて特徴を理解し、魅力を共有し、相互理解を深めることができた。</li> <li>生徒の気持ちや実状を尊重しながら、各部署と連携しながら中長期的な視座のもとで具体的な取り組みの検討と実践を行っていききたい。</li> </ul>	B
商業科	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからのビジネスに必要な資質・能力を育成する。</li> <li>ケースメソッドによる生徒主体の学びにより、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> <li>新しいコース別学習の実施と検証</li> <li>産学官連携学習の充実を図り、ビジネスを探究する学びを実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成のための授業展開及びその改善がなされているか</li> <li>CPIに見合う学習内容が設定・提供できているか</li> <li>地域人教育HOTAKA等で外部機関と連携し、充実した学びの実践が実現できているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員が探究できていたか</li> <li>探究する学びを提供できていたか</li> <li>授業改善、評価の改善ができたか</li> <li>CPを意識した授業展開ができていたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケースメソッド教育と地域人教育HOTAKAについて生徒アンケート等による検証を行った。</li> <li>ケースメソッド教育を中心としたビジネス探究プログラムの実践を行うことができた。</li> <li>ケース教材や評価の改善が今後の主な課題である。</li> <li>地域人教育HOTAKAでは外部機関と連携した探究的な学びを行うことができた。</li> <li>また、評価について客観的に行えるよう報告書、活動日誌、活動状況の3つの評価材料による評価を導入した。</li> <li>2年次のビジネス探究や3年次のコース別探究科目の改善や、活動実践・調査・報告の振り返り等を通じて、課題の解決に向けた取り組みが今後課題となる。</li> </ul>	A
3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるよう指導・支援する。</li> <li>基本的な生活習慣の確立と良識ある社会人として力を備えて卒業できるように指導・支援する。</li> <li>行事や生徒会活動を通して活動的なクラス・学年集団作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりの進路実現にむけた支援と自主性の涵養。</li> <li>個々の人間関係に気を配るだけでなく、地域の課題、人権などの社会の課題にまで関心が持てるように指導・支援する。</li> <li>最上級生として、生徒会行事やクラブ活動、学習活動においてリーダーシップをとり、主体的に行動できるように指導・支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な資料・機会を準備して、生徒の自主的な進路研究を促し、希望する進路を実現させることができたか。</li> <li>生徒の状況を把握し、支援、働きかけが適切にできたか。</li> <li>生徒の興味関心に応じて、社会への関心を高められたか。</li> <li>下級生の行動に配慮しながら、自分たちが満足できる行事を企画運営できるよう適切な指導ができたか。</li> <li>様々な場面で自主性を促すような指導・助言ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談や作文指導、朝学習での一般常識やSPI試験への対策を通して、進路実現に向けて意識を高め、2学期には具体的な進路活動に繋げることができた。</li> <li>心身に不調を抱えている生徒の情報共有し、保健室や支援室と連携を取りながら学習および生活面での支援を検討し、全員の卒業を見通すことができた。</li> <li>課題研究、穂商フェアを通して地域の課題と向き合い外部の方との交流を活発に行うことができた。</li> <li>穂商祭、クラスマッチ、合唱コンクール等の生徒会行事では、担当の先生方の指導のもと、役員の生徒は積極的に行動し、周りの生徒も盛り上げようと協力的であった。下級生とのトラブルもなく上級生としての自覚を持って行動ができた。</li> </ul>	A
2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における基本的な生活習慣を身につけ、落ち着いた生活基盤の上に授業に向かう姿勢を昨年度以上に向上させる。</li> <li>将来を見据えた進路実現をめざして、適切な進路指導を行う。</li> <li>2年生としての立場を理解し、生徒会、修学旅行など各種学校行事へ積極的に参加できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の様子、諸行事に対する姿勢や行動。</li> <li>日常の授業へ向かう姿勢。</li> <li>提出物の状況。</li> <li>将来の仕事、就職、進学を意識した基礎学力の向上と資格取得。</li> <li>適切な目標設定と適切な3年次の科目選択。</li> <li>クラス、学年、クラブ、委員会などの活動の中で様々な人と関わり、コミュニケーションをとりながら行動する。</li> <li>穂商祭や穂商フェア、修学旅行に積極的に参加し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解、生徒への指導、働きかけが適切にできたか、生徒の意識を高められたか。</li> <li>適切な資料、機会を準備し、働きかけができたか。</li> <li>コースごとの目標に沿って、生徒の目標に合わせた学習指導ができたか。</li> <li>さまざまな場面で適切な指導ができたか。</li> <li>生徒の微妙な変化に気がつき、対応できたか。</li> <li>適切な働きかけ、機会の提供ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの声掛けや面談において生徒の状況を把握し、問題・相談があった場合は保護者とも連携し、積極的かつ柔軟な指導を行った。担任が一人で抱え込まず、担任会、学年会議・生徒支援など関係各所との連携で情報を共有し、適切な指導することができた。</li> <li>進路希望調査、各種進路行事や進路学習などを進路指導係と連携して的確に実施した。自己診断テストやインターンシップへの参加、懇談会などの場面で、保護者とも共有しながら生徒の意識を高めるよう努めた。年度終盤からは特に3年次に向けより積極的な指導を行うことができた。</li> <li>生徒の授業以外の活動に積極的に関わりながら、生徒会の各種行事や穂商フェアのお手伝い、修学旅行などについて、その意義を理解させながら的確な指導を行った。特に年度後半、生徒会選挙以降は部活動・生徒会ともに3年生から引き継いだことを受け、実質的な本校のリーダーとしての自覚を促すことができた。</li> </ul>	B
1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>穂高商業高校生としての基本的な生活習慣・学習習慣を身につけさせる。</li> <li>生徒が希望する進路実現をめざして、計画的な進路指導を行う。自己を理解し、自分の将来の目標に向かって努力できるようにする。</li> <li>生徒が安心かつ安全に学校生活を送り、適切な人間関係が構築できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校則や時間、提出期限等を守る意識の育成。</li> <li>他者の話を傾聴する態度の育成。</li> <li>授業や資格取得に対する主体的な取り組みの促進。</li> <li>自己を理解し、進路を意識した科目選択や資格取得への主体的な取り組み。</li> <li>情報収集・進路ガイダンス等への目的意識を持った積極的参加。</li> <li>学級、学年、部活動、委員会などさまざまな活動への意欲的・積極的な参加。</li> <li>情報モラルの向上。</li> <li>自発的な健康管理や衛生観念の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に生徒やクラスの状況を把握して、SHRや面談などを通して、適切な指導を行うことができたか。保護者との連携はできたか。</li> <li>朝学習を計画的に実施できたか。</li> <li>商業科と連携して、検定取得に取り組ませることができたか。</li> <li>進路学習やキャリア学習の機会や資料を準備し、計画的に働きかけができたか。</li> <li>キャリアパスポートを用いて定期的に学校生活を振り返り、自己理解、進路への意識を高めることができたか。</li> <li>生徒の状況を把握するための有効な個人面談が実施できたか。また、把握した状況に対して適切な対応ができたか。</li> <li>スマートフォンやタブレットの利用における指導は適切であったか。</li> <li>健康や衛生に関する意識を向上できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者懇談や日頃から保護者との連携を密にして、生徒の把握に努めた。</li> <li>朝学習では、スタディサプリを利用し、国語・数学・英語を対象に、学習意欲の向上に繋げることができた。</li> <li>検定に関しては、希望者のみの受検としたため、過去と比べて受検者数が激減した。このことについては、来年度改善を図りたい。</li> <li>進路希望調査をもとに、懇談会時に指導の参考にし進路ガイダンス等において、より進路に向けての参考資料や具体的な将来像の見通しとなる機会ができた。</li> <li>職員間の情報交換等により、生徒の状況把握に努めた。生徒からの相談は、担任・生徒支援係を中心に対応に当たった。</li> <li>衛生管理については、保健委員会・清整委員会を中心に取り組みを行えた。</li> </ul>	A